



NZ カンタベリー地方で洪水 学校は臨時休業に！ 「地球温暖化」



6月初め、NZ 交流校のアンバリースクールの校長先生から、学校のあるカンタベリー地方で大雨による洪水が起こり、甚大な被害が起こっているという連絡が入りました。

(※ニュース写真提供)

子どもたちは、従前から ESD の学習で、大型化する台風やゲリラ豪雨等、地球的規模の課題について学習し、その原因と対策について「ジブンゴト」として考え行動することの大切さを学んでいます。近年の雨の降り方や降水量、梅雨の期間の長期化等、伴って起こる被害は、よそ事ではなく危機感がつのります。



かつて、爽やかな五月晴れの時期を過ぎた後、梅雨入りとともに始まるのが日本の夏の定番でした。農耕文化にいきる日本人にとってこの時期は、田畑の農作物が豊かに成長する時期にあたり、梅雨時期に降る雨は、恵の雨ともいわれてきました。

四季を楽しみながら季節に応じた生活を送ることができていたのは、何時頃までだったのでしょうか…。近年は、随分事情が違って来たように感じます。梅雨時期には、局地的な大雨による被害がよく起こるようになりました。さらに、梅雨が明けると同時に、一年で最も気温の高い盛夏期が訪れます。極端に暑い日が続き、作物等に被害が出るばかりでなく、熱中症患者が増えるなど、人にも影響が及ぶようになりました。今では、新型コロナウイルス感染状況と共に、梅雨前線の動きや急激に暑くなる天候に関する情報は、私たちが安全、安心して生活するうえで欠かせないものになっています。



四季を楽しみながら季節に応じた生活を送ることができていたのは、何時頃までだったのでしょうか…。



緑の羽根募金

飼育・栽培委員会の子どもたちが、全校児童に呼びかけ、募金活動を行いました。集まった金額は、10,709 円。

還元金の4,283円は、今後、飼育・栽培委員会が計画し、校内の緑化にむけ、学校園での植物の栽培等に活用する予定です。

個人懇談のお知らせ

7月13日（火）から7月15日（木）の間、個人懇談を行います。

一昨年度、「のびゆく子ども」の「所見」について見直しました。

昨年度からは、文書表記による所見は三学期末の1回とし、一年間のまとめとしての学習・生活状況等について文書でお伝えすることに変更しています。

一、二学期は、個人懇談の時期を終業式直前に設定し、学期中のお子さんの学習・生活の様子について詳しくお話させていただきます。

約10分間の懇談となりますが、二学期以降のお子様のより良い成長に向け有意義な時間にしたいと考えていますので宜しくお願いいたします。

タブレットで投票！



「日本のユネスコ加盟70周年」を記念し、文部科学省では、4つのロゴマーク案を作成し、ユネスコスクール等に電子投票を呼び掛けています。そこで、本校は、児童会（国際交流委員会）が主催し、タブレットからこの企画に参加することにしました。投票の仕方については、お昼のTV放送で国際交流委員会の人たちが4案のロゴの意味を説明し投票をおこないました。*投票により決定したロゴは上記2番目の案になりました。

- ◆国際宇宙ステーションに子どもたちの“夢”と“スマイル”を届ける、教育応援プログラム「子ども宇宙プロジェクト」に参加します。
- ◆豊中市の「豊中SDGsパートナー」に登録されました。
- ◆タッチペンの配布について

豊中市教育委員会から配付されたiPad用のタッチペンを一人一本お配りします。配る日は学年により多少異なります。タッチペンを紛失したり、故障で使えなくなったりした場合、2本目のご用意はご家庭でお願いいたします。尚、タッチペンが不要の場合は、ご用意いただく必要はありません。

夏季休業 7月21日(水)～8月24日(火)

長い夏休みを迎えます。この休みには、一学期の学習や生活をしっかり振り返り、苦手なことを克服したり、新たに目標を決め挑戦したりしてほしいです。また、適度の運動を心がけ、体力づくりにも積極的に取り組むことができるよう、お子さんのサポートをお願いいたします。

